

看護実践学会 プロジェクト研究

せん妄の基本病態と医療安全 急性期病院における"せん妄"対策を最適化する

本プロジェクト研究は、2023年12月～2027年3月に実施しています。
今回、下記ご発表された小坂鎮太郎先生にご講演頂きます。是非、ご参加ください。

「入院患者に対して多職種で包括的に関わることで、せん妄によって引き起こされる合併症を減らすための方策として、HELPプログラム(Hospital Elder Life program)、DELTAプログラム(DElirium Team Approach program)、ユマニチュード (Humanitude)、患者協働(Patient engagement)といったプログラムやアプローチがあります。これらを組み合わせて実施することで、入院患者のせん妄および関連する合併症を効果的に減少させることができます」(賠償科学、52号：Page51-54、2024)

お申込み先

会員限定
参加費無料

事前申込はありません。
当日開始時刻に下記
QRコードからzoomに
アクセスください

[日時] ▶▶ 2026年 3月 7日 (土)
13:00-15:00

[会場] ▶▶ オンライン開催 (Zoom)

●看護実践学会 プロジェクト研究代表 挨拶
加藤 真由美 先生 (金沢大学保健学系 教授)

●講演

「せん妄の基本病態と医療安全
急性期病院における"せん妄"対策を最適化する」
小坂 鎮太郎 先生
(東京都立広尾病院 病院総合診療科部長)



お問い合わせ先

正源寺美穂 (金沢大学医薬保健研究域保健学系 老年リハビリテーション看護学分野)
E-mail shogen@mhs.mp.kanazawa-u.ac.jp